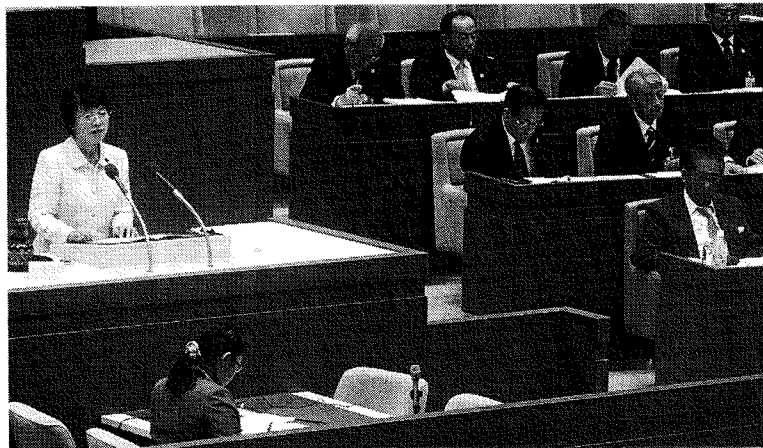


豊洲移転地

# 大手ゼネコン 汚染対策で 深まる談合疑惑

## 清水都議 徹底調査を要求



石原慎太郎知事(前列右端)に代表質問する清水ひで子都議(左)＝7日、都議会本会議

日本共産党の清水ひで子東京都議は7日の都議会代表質問で、築地市場移転予定地(東豊洲)の土壌汚染対策工事入札をめぐる談合疑惑を取り上げ、工

事を中断し、公正取引委員会と連携して徹底した調査を行うよう追

### 土壌汚染対策工事の落札JV

	落札JV(共同企業体)	落札額	落札率
5街区	鹿島・大成・東亜など6社	119	93.9
6街区	清水・大林・大成など10社	333	97.0
7街区	大成・鹿島・熊谷など5社	89	94.7

単位：落札額は億円、落札率は%

及しました。

予定地では環境基準の4万3000倍のベンゼンや930倍のシアン化合物などを検

出。都は市場関係者や消費者らの反対を無視

して、8月29日に同地の工事を3街区に分けて入札。清水建設、鹿

島、大成建設の大手ゼネコンを中心にした各

共同企業体(JV)が落札しました。

清水氏は日本共産党が入手した受注ゼネコンの内部資料で、JV

参加企業の組み合わせや全企業の出資比率

などが落札結果と一致していたこと、落札率も94.97%と高い水準だったことを指摘。

「都に寄せられた談合情報はどのようなもので、どう調査・対応したのか」と追及しました。

安藤立美財務局長は、談合情報の内容を明らかにせず「調査を改めて実施する考えはない」と答弁。清水氏は再質問で「愛知県などでは情報と入札結果が一致すれば、落札を保留し再調査する。都への情報と入札結果がどの程度一致したのか」とただしました

が、同局長は同じ答弁を繰り返しました。